

令和7年度第1回小金井市長期計画審議会 次第

日時 令和7年6月30日（月）午後2時00分から

場所 小金井市役所本庁舎3階第一会議室

- 1 令和7年度施策評価について
- 2 グループワークについて
- 3 その他

■配布資料

- 資料1 今後の長期計画審議会等のスケジュールについて
- 資料2 令和7年度施策評価シート
- 資料3 関連計画一覧
- 資料4 担当委員一覧

資料 1

第 1 回長期計画審議会

令和 7 年 6 月 3 0 日

今後の長期計画審議会等のスケジュールについて

日程		内容	
		令和7年度 施策評価	後期基本計画
第1回	6月30日(月) 14時～	・令和7年度施策評価について ・グループワークについて	
第2回	8月1日(金) 9時～	・長期計画審議会コメントの検討について ・グループワークでの検討結果について	・素案修正の進捗について
第4回 起草委員会	8月5日・6日		・素案最終修正
第3回	8月25日(月) (予定)	・施策評価答申について	・中間答申前素案確定
第4回	9月16日(火) (予定)		・中間答申について ・市民フォーラムについて ・パブリックコメントについて
市民 フォーラム	9月20日(土)		・市民フォーラムの開催
パブリック コメント	9月中旬～10 月中旬		・パブリックコメントの実施
第5回	11月(予定)		・パブリックコメントの結果について ・素案の最終修正
第6回	12月(予定)		・最終答申について

政策 環境と都市基盤

第 5 次基本構想・前期基本計画

令和 7 年度 施策評価シート

施策 1 みどりと水の環境整備

【Plan】

目指す姿	美しく質の高いみどりと水を私たちみんなの力で適切に保全・活用し、豊かな自然と都市が調和した次世代に誇れるまち		
主担当課	環境政策課	関連課	農業委員会事務局、都市計画課、道路管理課、まちづくり推進課
関連計画	環境基本計画、みどりの基本計画、農業振興計画、都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン		

【Do】

令和 6 年度の主な取組	課題
【切れ目のない協働の仕組みづくり】（環境政策課） ・子どもの参加が可能な花の植え替えイベントをむさこぶらっと公園において1回（6人・うち子ども3人）、栗山公園において2回（39人・うち子ども22人）、梶野公園において2回（76人・うち子ども37人）実施した。 ・環境美化サポーターとの意見交換会を1回、ボランティア養成講座を1回、交流を兼ねた先進地視察バスツアーを1回、定例的な打合せを12回実施し、課題共有及び課題解決に向けた協議を実施した。 ・市報で環境特集号にて、環境美化サポーター活動の周知を図り、新たに1団体が登録した。 【みどりと水の保全】 ・梶野公園まつりにおいて、ブルーベリー苗木を50本・オリーブ苗木50本を配布し、民有地でのみどりを広げるきっかけを創出した。（環境政策課） ・生産緑地に市民農園の開設が可能になったことや生産緑地の貸借制度について、市内農地所有者に周知した。（農業委員会事務局） ・街路樹管理事業を実施した。（道路管理課） 【既存公園・緑地の新たな活用】（環境政策課） ・栗山公園、梶野公園、三楽公園において、インクルーシブ遊具設置等の遊び場や菜園等の設計を進めるとともに、障がい者等の理解を深める情報発信を行い、だれもが遊べる公園づくりに向けた取組を実施した。 ・公園の維持管理について、指定管理者の（株）日比谷アメニスと連携し低未利用公園を活用してプレイパーク等のイベントを開催した。 ・低未利用の1公園について、地域安全課にて、防災倉庫用地として新たな活用を図った。	・みどりと水の環境整備では、行政だけが取り組んでも達成することができず、市、事業者、市民がそれぞれ主体的に協働して取り組む必要がある。 ・街路樹管理は、生育を見極めつつ交通の安全を確保する管理が必要である。

【Check】

	指標	当初	目標	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績
1	みどりと水の環境整備に対する満足度（アンケート）	63.2%	80.0%	72.0%	69.6%	65.6%	66.6%	
2	公園環境美化サポーターの登録者数	222人	280人	331人	311人	363人	317人	

総括・自己評価

・保全緑地制度のうち、保存樹木や保存生け垣、環境緑地の新規申請について、緑地保全対策審議会での審議を踏まえ、規則を改正のうえ申請期間の制限を緩和することで、みどりの保全を促進する制度整備を進めている。

・環境美化サポーターに新たに1団体の登録があり、目標登録者数を上回ることができた。今後も市報（環境特集号）等を通じて環境美化サポーター制度の周知を図り、市民協働による公園美化の推進を図っていく。

・市立公園に指定管理者制度の開始に伴い、指定管理者と環境美化サポーターとの意見交換を活動する公園で実施し、指定管理者と環境美化サポーターの関係を深め、市民協働による維持管理体制の推進をした。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	環境美化サポーターと継続して意見交換するとともに、協働してイベント実施することにより、みどりの保全が推進され、目指す姿の実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

・環境美化サポーターと関係構築を更に深めるため、先進的な取組をしている公園の視察、交流会、意見交換会及び養成講座を実施する。

・子どもが参加可能な花壇の植え替えイベントを梶野公園や栗山公園において、継続して実施する。また、三楽公園や前原町かけはしの森公園でのイベントも企画していく。

・市民に身近な市立公園の質の向上及び市民協働の深化を図るため、指定管理者側に配置された市民協働のコーディネーター役を務める担当者とともに環境美化サポーターとの協議及びイベントを継続して実施する。

・低未利用の公園について、指定管理者と連携して、市民の声を活かした活用イベントを実施する。

施策2 循環型社会の形成

【Plan】

目指す姿	私たちが一体となって3Rに取り組む、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」		
主担当課	ごみ対策課	関連課	
関連計画	一般廃棄物処理基本計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
・小中学校の長期休業に合わせた児童向けワークショップの定例開催 ・ごみ減量キャラクターを活用したリチウムイオン電池混入防止に向けた啓発の強化 ・「家電4品目（各種テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等）の自宅回収サービスの提供」に係る連携協定の締結 ・一般廃棄物処理基本計画の改定、食品ロス削減推進計画の策定に向けた市民アンケート調査の実施 ・市内大規模事業所の事業系一般廃棄物の排出状況に係る実地確認において東京都の3Rアドバイザー事業を活用し、再資源化率の向上に向けた資源化促進及び分別におけるより専門的なアドバイス等を実施	・事業系ごみの発生抑制の推進 事業系のごみは、コロナ禍以降、社会経済の再開、地域社会の発展等により増加傾向となっており、可燃ごみの定期的な搬入物検査を行うことで、分別指導を許可業者に対し行っているところであるが、分別のできていない事業者を特定するには至っていない。市内大規模事業所の実地確認において東京都の3Rアドバイザー事業を活用し、各事業所への指導助言の強化を図っているが、廃棄物処理・資源化の方策はそれぞれの事業所の経営管理にかかわる部分でもあるため、具体的な成果につなげるまでのフォローアップに課題がある。

【Check】

	指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	3Rに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	86.3%	90.0%	91.5%	90.0%	91.2%	89.0%	
2	市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	369g	355g	378g	363g	349g	344g	

総括・自己評価

メタウォーターサステナブルパークこがねいの竣工・稼働をもって、不燃・粗大ごみ、資源物の処理について、循環型社会の形成に資する施設の再配置を進め、適正処理の維持を図るため、平成30年3月（平成29年度）に策定した清掃関連施設整備基本計画に基づく清掃関連施設整備事業が完了した。このことにより浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設を含め、改めて廃棄物処理体制が整ったところだが、ごみ非常事態宣言下にご理解、ご協力をいただいた関係者各位、施設近隣にお住まいの方々へ感謝申し上げますとともに、市では、施設周辺にお住まいの方々の負担や環境負荷軽減のため、引き続きごみ分別・資源化に取り組んでいく必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	一般廃棄物処理基本計画におけるごみ排出量（指標2）の令和12年度目標値（355g）を達成しているため
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

令和7年度も引き続き基本計画に基づき「発生抑制を最優先とした3Rの推進」と「安全・安心・安定的な適正処理の推進」を基本方針とした上で、各施策の展開を図る。SNS等を活用した施策の見える化・情報発信に取り組むとともに、市民要望の多い粗大ごみ受付オンライン化の実装準備を進める。また、新たに実施する家庭生ごみ資源化モデル事業の試行を通じ、資源化施策拡充を図る。

政策 環境と都市基盤

施策3 環境保全の推進

第5次基本構想・前期基本計画
令和7年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	私たち一人ひとりが自主・自律的に環境保全行動を実践し、エネルギー使用の抑制や環境負荷軽減などの地球温暖化対策を推進することによる、公害が少なく、環境にやさしいまち		
主担当課	環境政策課	関連課	
関連計画	環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
・省エネチャレンジ事業を実施 ・住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業を実施 ・次世代自動車普及促進補助事業を実施 ・環境啓発事業（環境フォーラム、野川環境フィールドワーク等）を実施 ・環境教育事業（子ども環境ワークショップ、環境講座（小金井の地下水を学ぶ））、森林教育事業等を実施 ・公害関連の各種測定業務を実施	地球温暖化対策推進のためには、地球に住む私たち一人ひとりが自分事として意識し、行動に移すことが重要である。世界的な温暖化に伴い、気候が危機的な状況にあることを市民、事業者、行政等が共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組む必要がある。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	省エネルギーに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	70.1%	80.0%	75.0%	75.5%	77.2%	68.9%	
2	小金井市公共施設の温室効果ガス総排出量	5,906 t	5,457 t	5,910 t	6,265 t	5,873 t	—	

総括・自己評価

省エネルギーに取り組んでいる市民の割合は微減となっではいるものの、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金については早期受付終了となるなど、本制度が広く周知され省エネ創エネに関する意識は概ね良好に推移している。

また、環境フォーラムや野川環境フィールドワークをはじめ、省エネチャレンジ事業、環境教育事業、森林教育事業といった環境啓発事業を多数実施することでゼロカーボンシティ実現に向けた意識醸成を図ることができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	補助事業について、市報（環境特集号等）、市HP、X等の媒体や環境フォーラム等の事業で周知をすることで認知度を上げることができた。多くの市民に補助制度を利用していただくことで、地球温暖化防止対策に寄与することができた。また、環境フォーラム、森林教育等の事業においても、未来を担う子ども達の森林保全の意識啓発に繋げること及び市民意識の醸成を図ることができたため、一定の成果を上げることができたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

気候危機が一層深化する中、世界では2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする目標に向けて歩みを進めている。

本市としても「気候非常事態宣言」（令和4年1月1日）において、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指しているところであり、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて各種取組を実施している。

地球温暖化対策の推進については、一人ひとりが他人事ではなく、自分事として意識し、行動に繋げることが重要であるため、令和7年度においては（仮称）気候市民会議を開催することで意識啓発を推進していく。

政策 環境と都市基盤

施策4 市街地の整備

第5次基本構想・前期基本計画
令和7年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	魅力的な市街地、まちの顔となる駅周辺の整備を進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまち		
主担当課	都市計画課	関連課	まちづくり推進課、道路管理課、区画整理課
関連計画	都市計画マスタープラン		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
■宅地開発指導（同意協議の件数） ・開発事業 8件 中高層建築物等の建設事業 13件 ■武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業 ・準備組合と地元組織が連携し、まちづくりの検討を行った。 ・令和6年12月に都市計画決定を行った。 ・組合設立認可申請に向けた協議及び手続きを行った。 ■区画整理事業 ・仮換地指定に伴い、建物及び工作物等の移転を行った。 ・整地及び道路築造工事を行った。 ・まちづくりニュースを発行することによって、地権者及び市民の事業に関する疑問並びに不安を軽減し、より一層の事業に対する理解を得るように努めた。 ・事業計画を変更し、事業期間の延伸及び資金計画の修正を行った。	■武蔵小金井駅北口まちづくり ・再開発事業を円滑に遂行するためには周辺住民への理解が必要であるため、引き続きスピード感をもった取組を地元権利者等と一緒に進めていながら丁寧な対応が必要である。 ■区画整理事業 ・道路築造費、整地費等の工事費用の増額、損失補償費の増大及び地権者との交渉難航等による事業期間の延長については未だ懸念が残る。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	駅周辺などにおいて、魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合（アンケート）	32.8%	50.0%	43.3%	40.6%	42.0%	39.2%	
2	駅周辺整備の進捗率	69.4%	77.0%	71.6%	73.5%	74.0%	72.1%	

総括・自己評価

東小金井駅北口土地区画整理事業は、周辺の基盤整備がなされないまま一部宅地化が進んだ状況である駅前区域について、計画的な都市基盤整備や土地の有効利用等を図り、本市の東部地区の地域中心核としてふさわしい魅力ある市街地環境を創出することを目指し平成12年度から事業を進めている。令和6年度に事業計画を変更し、事業期間の延伸及び資金計画の修正を行った。今後も交渉が難航している地権者への対応及び工事費の増大といった課題解決に注力していく。

武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業については、令和6年12月に都市計画決定し、令和7年度に組合設立が認可されるように調整している。

令和6年度は、区画整理事業並びに駅周辺整備が進捗した。今後は、区画整理事業に加えて武蔵小金井駅北口駅前東地区再開発事業を進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまちを目指し、市民に魅力的な市街地が整備されていると感じてもらえるように、計画的に整備を進めていく必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	目標達成に向けた取組や今後の施策展開などが適切に行われている。
-------	--------------	----	---------------------------------

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・武蔵小金井駅北口駅前東地区再開発事業が進捗するための取組を引き続き進めていく。
- ・東小金井駅北口土地区画整理事業について、地権者及び市民の事業に関する疑問並びに不安を軽減するため、より一層理解を得るように努めていく。

政策 環境と都市基盤

施策5 住環境の整備

第5次基本構想・前期基本計画
令和7年度 施策評価シート

【Plan】			
目指す姿	宅地内の緑化推進、良質な住宅の供給、施設の耐震化や長寿命化、バリアフリー化の推進などによる、自然と調和した、安全かつ快適で住み心地の良いまち		
主担当課	まちづくり推進課	関連課	環境政策課、都市計画課、経済課、地域安全課、庶務課、道路管理課、交通対策課、介護福祉課、自立生活支援課、下水道課
関連計画	住宅マスタープラン、耐震改修促進計画、下水道総合計画		

【Do】	
令和6年度の主な取組	
【交通対策課】 ・街路灯維持管理事業を実施 【下水道課】 ・新築建物へ雨水浸透ます設置を促進 ・雨水浸透施設等設置助成事業を実施 【経済課】 ・未来に残す東京の農地プロジェクト補助金事業を実施 ・農地の貸借制度の活用促進及び相続納税猶予制度の推進 【自立生活支援課】 ・日常生活用具費給付事業（住宅改修費）を実施 ・住宅入居等支援事業を実施 【介護福祉課】 高齢者のいる世帯に対し、転倒予防、動作の容易性の確保（痛みの軽減）、行動範囲の拡大の確保、介護の軽減の効果を確保するため、その者の居住する住宅の改修費用の一部を給付し、在宅での生活の質の確保を図る 【まちづくり推進課】 ■木造住宅耐震化助成事業を実施 ■特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成事業を実施 ■マンション適正管理促進事業を実施	
課題	
【下水道課】 ・助成の対象が、昭和63年8月以前に建築された建物であるため、申請件数が年々減ってきているが、引き続き助成制度のPRを行い、周知していく。 【経済課】 ・生産緑地に設置できる農業用施設であっても、相続税納税猶予制度の適用を受けられないことがある等、国の農地関連施策と税制度で不整合が生じている。 ・都市における農地は、相続によって宅地化されるケースが大半である。相続時に市が農地を取得するための仕組みはあるものの、多額の財源を要するため困難な状況である。そのため、現在、農地を所有している世代に対する農地保全に資する取組を実施しているが、根本的な解決には至っていない。 【介護福祉課】 住宅改修の申込手続きは複雑であり、高齢者が自らが行う場合、困難を伴うことが多い。他事業の住宅改修相談や地域包括支援センターでの相談受付を強化し、希望する方が住宅改修をすることができるよう、連携を強化していく必要がある。 【まちづくり推進課】 ■木造住宅耐震化助成事業の推進のための周知を継続する。 ■マンション適正管理促進事業を推進する必要がある。	

【Check】								
指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	自然と調和した快適で安全な住環境が整備されているとを感じる市民の割合（アンケート）	52.3%	70.0%	65.2%	65.7%	63.3%	64.1%	
2	市内の住宅の耐震化率	93.0%	耐震性が不十分な住宅を概ね解消	94.0%	94.5%	95.0%	95.5%	
3	管理状況の届出を行った要届出マンションの割合	—	80.0%	79.2%	83.0%	87.2%	93.6%	
4	住宅用新エネルギー機器等普及促進の達成率	7.5%	11.6%	8.7%	9.4%	10.0%	11.2%	
5	高齢者自立支援住宅改修給付の到達率	93.0%	100.0%	94.7%	89.6%	90.4%	82.7%	

総括・自己評価	
【総括】全事業において、昨年度に引き続き進捗率は概ね伸びているが、一部減少している事業もある。今後も現状の課題を整理し、引き続き目標達成に向けた取組を実施していく。 【自己評価】助成事業が多く、一部の助成事業は周知が行き届き、利用率も向上している。	

評価			
達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	指標の数値が伸びているため、目指す姿の実現に向けて一定の成果を上げたと評価した。
長期計画審議会コメント			

【Action】	
次年度の施策の方向性	
今後も市民への周知、情報発信の方法、東京都の施策の紹介などにより、市民生活の向上のため、引き続き事業を推進していく。	

施策6 都市インフラの整備

【Plan】

目指す姿	利便性の高い道路ネットワークの構築と災害に強い安全で安心な都市基盤を整備し、適切に維持管理していく快適なまち		
主担当課	道路管理課	関連課	都市計画課、下水道課
関連計画	無電柱化推進計画、橋りょう長寿命化計画、都市計画マスタープラン、下水道総合計画、下水道ストックマネジメント計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
・電線共同溝設置工事（市道第12号線、市道第136号線）を行った。 ・橋りょう点検及び橋りょう補修設計（梶野橋）を行った。 ・街路樹管理事業を実施した。 ・都市計画道路の拡張整備事業を行った。 ・下水道施設の点検・調査、工事等を行った。	・防災機能の強化、安全な通行空間の確保を目的として、無電柱化推進計画に基づき無電柱化事業を進めているが、当初計画より進捗に遅れが発生している。背景としては、入札不調、現場作業員の確保等があり、今後は物価高騰に伴う事業費増が課題である。 ・安全で安心なまちづくりに向けて、橋りょうの長寿命化計画に基づき、橋りょうの計画的な点検及び適切な維持補修管理を行っていく必要がある。 ・街路樹の老朽化により、倒木や落枝のリスクがある。自然豊かな景観を維持しながら、街路樹の適切な管理を行っていく必要がある。 ・下水道事業の維持管理及び今後の施設更新のための事業費増が課題である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市内の道路が快適に通行できていると感じる市民の割合（アンケート）	32.9%	50.0%	40.6%	36.0%	37.5%	40.0%	
2 市内の道路が適切に管理されていると感じる市民の割合（アンケート）	35.6%	50.0%	43.5%	40.8%	40.1%	44.8%	
3 無電柱化推進計画に基づく進捗率	0.6%	1.8%	1.0%	1.1%	1.1%	1.1%	

総括・自己評価

・自然と都市が調和した人に優しいまちの実現に向けて、市公式LINEアカウントや電話等で受け付けた道路の異状等の情報提供について、可能な限り迅速に対応を行った。街路樹については、通行に支障のある樹木の剪定や老朽化した樹木の維持管理を行うなど、道路の適切な維持管理に努めた。

・橋りょう長寿命化事業や無電柱化事業、歩道拡張事業を進めており、既存の都市インフラの維持管理を推進した。これらことから、令和6年度の指標の数値向上に繋がったと考えられる。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	街路樹管理をはじめとして、橋りょうの補修工事や無電柱化事業、下水道事業など、既存の都市インフラ整備を進めており、指標の数値も伸びていることから、一定の成果が上がっていると評価した。
-------	---------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

・都市インフラの維持管理を強化し、安全で安心な道路環境を維持していく。

・道路ネットワークの構築に向けて、市民の理解を得ながら、都市計画道路の拡張整備を進めていく。

・下水道事業では、より一層の経営基盤の強化を図るため、下水道総合計画改訂版、経営戦略改訂版の策定を令和7年度、令和8年度の2か年をかけて行い、また、下水道使用料の改定についても検討を行う。

政策 環境と都市基盤

施策 7 交通環境の整備

第5次基本構想・前期基本計画
令和7年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	円滑で利便性の高い移動手段を構築し、通行上の安全性を確保することにより、安全かつ快適に人が行き交うまち		
主担当課	交通対策課	関連課	まちづくり推進課、区画整理課
関連計画	交通安全計画、「C○C○バス」再編計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【交通対策課】 - 交通安全推進事業 看板の設置や道路反射鏡の補修、通学路点検、交通安全運動による啓発、自転車用ヘルメット購入助成を実施 - 自転車関連事業 放置自転車の撤去、自転車駐車場附置の指導、令和6年11月にシェアサイクルの実証実験開始等 - 公共交通 令和7年3月に「小金井市地域公共交通計画」を策定。同年1月に地域公共交通活性化協議会内に交通ネットワーク再編事業を協議するため、部会を開設 【区画整理課】 - 土地区画整理事業の継続した実施 【まちづくり推進課】 特定緊急輸送道路沿道建築物の除却	- 交通安全施設について、老朽化が進んでおり、計画的な更新の検討が必要。自転車用ヘルメットの着用率は増えているものの低い水準に留まっている。 - 自転車駐車場について、放置自転車の台数は減少傾向にあるものの、東小金井駅周辺への整備要望が出ている。自転車の新たな利用形態の効果を検証するため、シェアサイクルの実証実験を開始したところであり、今後、設置個所を事業者とともに増やしていく。 - 公共交通について、バス運転士不足の影響から市内でも減便等が目立つようになってきた中、C○C○バスの運行事業者から一部路線の廃止について申入れがなされた。協議会に部会を立上げ、できる限り公共交通空白地域を発生させないように、市内全域で路線バスやC○C○バスを含めた運行方法の協議を開始した。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	市内を安全に移動できていると感じる市民の割合（アンケート）	49.2%	60.0%	55.9%	50.4%	50.3%	56.2%	
2	市内の交通手段における利便性への満足度（アンケート）	46.7%	70.0%	55.1%	50.6%	47.5%	46.3%	
3	交通事故死傷者数	173人	121人	174人	196人	232人	170人	

総括・自己評価

・令和5年度からC○C○バス再編により、運賃が上がり、ルートも一部変更となったことに加え、路線バスの減便やタクシーの運転士不足等から利便性への満足度が低下したものと考えている。今後の公共交通のあり方を示した小金井市地域公共交通計画に基づき、その施策を推進しつつ、並行して開始した交通ネットワーク再編事業も市民生活への影響も踏まえ、着実に進めていく。

・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、人の流れも戻ってきている中、交通事故自体は減少したが、自転車に関与する事故の発生割合は増えており、様々な世代や場面における交通安全の普及啓発を継続していく。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標は一部改善が見られる部分もあるが、新たな課題も出ており、継続した取組が必要であるため
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

バス運転士不足が社会問題となっている中、小金井市における持続可能な公共交通ネットワークのあり方を公募市民をはじめ、運行事業者、交通管理者、道路管理者等で構成される法定協議会及び部会で協議し、現状や今後の変更点を市民にわかりやすく伝えていく必要があると考えている。

全国的に自転車による事故が増加傾向にあるため、「青切符」が令和8年4月より導入されるとの報道も出ており、注目が集まっているため、警察とも連携し、自転車のルールやマナーの普及啓発に取り組みたい。

施策8 危機管理体制の構築

【Plan】

目指す姿	私たち一人ひとりが災害や感染症などに備え、互いに助け合うことのできる「人の輪」をつなげる、様々な危機に強いまち		
主担当課	地域安全課	関連課	介護福祉課、指導室、まちづくり推進課、地域福祉課、健康課
関連計画	地域防災計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【地域安全課】 ・こがねい防災フェスタ（総合防災訓練）※悪天により中止／総合水防訓練の実施 ・自主防災組織への補助金事業の実施 ・自主防災組織への防災講習会の実施 ・災害対策用備蓄食料等の購入 ・災害時応援協定の締結（3件） ・防災マップの更新、全戸配布 ・第65回北多摩地区消防大会を開催 【まちづくり推進課】 ・ブロック塀等撤去助成事業 ・木造住宅耐震改修等助成事業 【健康課】 緊急医療救護所訓練の実施	・自助（市民一人ひとりの防災知識の習得及び防災意識の醸成）と共助（地域の繋がり）の強化及び地域防災力の向上。 ・公助の強化に向けた、市の備蓄及び民間団体等との災害時応援協定の推進。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	まち全体で災害などへの備えができていると感じる市民の割合（アンケート）	17.0%	30.0%	21.3%	21.3%	20.4%	23.0%	
2	災害などのための備蓄を行っている市民の割合（アンケート）	57.1%	70.0%	60.2%	59.4%	61.7%	62.9%	
3	直近1年間で防災訓練に参加したことがある市民の割合（アンケート）	21.0%	30.0%	11.9%	10.8%	13.9%	13.9%	

総括・自己評価

指標1・2については、能登半島地震を受けて市民等の防災意識向上に繋がったと考えられるが、市としても、防災をテーマにした出前講座や市報（防災特集号含む）・市HP・各種イベント等での広報を継続して実施するとともに、防災マップの更新及び全戸配布により市民等への啓発を行った。公助の面では、備蓄品の購入や倉庫の整備による備蓄の推進、茨城県桜川市との災害時相互応援協定の締結、医師会と連携した緊急医療救護所訓練の実施、消防団の活動支援により、地域防災力の向上や連携強化等、引き続き一定の効果があつた。

指標3について、総合防災訓練は悪天候のため中止となったが、市民参加型の訓練として内容充実を図ったほか、より幅広い層の参加を促すために名称を「こがねい防災フェスタ（総合防災訓練）」に改めた。また、市主催の訓練だけではなく他団体等が実施する防災イベント等にも参加することで、機会創出を図った。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標としては増加傾向にあるが、市民の防災意識醸成、地域防災力の向上を図るため継続した取組が必要であることから、この評価とした。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

引き続き、実災害を踏まえた他自治体の取組等の情報を多く取り入れるとともに、防災イベントに限らず様々な視点からのアプローチを検討し、目指す姿の形作りを推進していく。

施策9 地域の安全・安心の向上

【Plan】

目指す姿	防犯意識の向上、犯罪や消費者被害の未然防止などの推進、関係機関との防犯協力体制の構築により、安全で安心して暮らすことができるまち		
主担当課	地域安全課	関連課	経済課、資産税課、環境政策課、ごみ対策課、健康課、まちづくり推進課、道路管理課、交通対策課
関連計画			

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【地域安全課】 ・高齢者に自動通話録音機の貸出を実施（85台） ・防犯活動を実施する団体等に防犯敷材を支給（4団体、合計18個） 【経済課】 ・消費者被害を未然に防止することを目的に、講座を回実施（高齢者向け14回、若年層向け4回、全世代向け1回。参加者数2,144人）。 【まちづくり推進課】 ・住まいのなんでも相談会を開催	【施策全体の課題】 ・振り込め詐欺や消費者被害に遭う市民が一定数存在すること。 【事業の課題】 ・自動通話録音機の貸出数や防犯資機材の支給について、昨年度より減少しているため、更なる広報の工夫により認知されることが必要である。 ・消費者教育を実施できていない学校があること。 ・若年層と高齢者層に啓発活動を行っているが、中間世代向けの事業が手薄となっていること。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 犯罪などに対する取組や地域の体制に安全・安心を感じる市民の割合（アンケート）	31.4%	50.0%	42.3%	40.0%	40.7%	40.2%	
2 犯罪発生件数	758件	600件	497件	553件	568件	709件	
3 消費者啓発事業への参加人数	2,691人	3,000人	1,285人	2,405人	1,622人	2,144人	

総括・自己評価

指標1について、安全・安心を感じる市民の割合は微減しているが、自動通話録音機の貸与、消費者講座及び住まいのなんでも相談会の開催等により、不安を感じる人は一定数になっていると考えられる。今後、近年の新たな犯罪等の対策として、防犯機器等の購入補助等を検討していく必要がある。

指標2について、昨年より上昇しているが、内訳を見ると、詐欺の発生件数については微増で、本施策で取り組んでいる詐欺及び消費者被害対策については一定の効果があったものとする。

施策9全体としては、一部成果があがったと考えられるものの、目指すべき安全・安心なまちに近づくためにより一層防犯対策に取り組む必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	啓発事業や自動通話録音機の貸出等により、目指す姿実現に向けた一定の成果を上げたと思う。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

詐欺及び消費者被害対策を継続して行うほか、地域における見守り活動の促進や、防犯に関する広報・啓発を行うことで、市全体の防犯力の強化をはかり、市民がより安心感を得られるまちづくりを推進していく。

施策10 産業・観光の振興

【Plan】

目指す姿	多様で豊かな市民力あふれる生活都市にふさわしい産業・観光の創出・育成に継続的に取り組み、地域の付加価値を高める、ふれあいと活力のあるまち		
主担当課	経済課	関連課	まちづくり推進課、区画整理課、自立生活支援課、高齢福祉担当、男女共同参画室、子育て支援課、地域福祉課
関連計画	産業振興プラン		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【経済課】 ■商工会及び観光まちおこし協会への補助事業 ■地域振興事業 【高齢福祉担当】 ■小金井市シルバー人材センター事業費補助（高齢者の就業機会の増大、活力ある地域社会づくり） ■小金井市シルバー人材センター事業に係る広報活動への協力 【男女共同参画室】 ■女性のための再就職支援講座を実施 【自立生活支援課】 ■就労を希望する障がいのある人の就労支援を実施（小金井市障害者就労支援センター） 【区画整理課】 ■まちづくりニュースの発行	【経済課】 ■観光まちおこし協会実施事業が拡大・充実している一方、体制が不完全 ■イベント実施数の伸び悩み 【高齢福祉担当】 ■シルバー人材センターの会員数の継続的な減少 ■補助金に依存することなく、独自の収益によりセンターの運営ができるよう経営体力を付けることが必要。 【男女共同参画室】 ■講座への参加者数の伸び悩み 【区画整理課】 地権者との交渉難航等による事業期間延伸の懸念

【Check】

	指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	まちに活気があると感じる市民の割合（アンケート）	32.2%	40.0%	41.6%	44.2%	41.7%	45.2%	
2	年間小売販売額	860億1,400万円	維持	685億500万円	—	—	—	
3	滞在人口率	0.86倍	0.90倍	—	0.87倍	—	—	

総括・自己評価

■指標1のまちに活気があると感じる市民の割合について、徐々にコロナ禍前の日常に戻ってきており、お祭り等のイベントもイベント実施数は伸び悩んでいるものの、コロナ禍前と同規模のものが実施されていることから、目標を上回っていることは評価できる。
しかし、イベントの計画はしていたものの中止となったものもあるため、東京都等の地域産業振興制度を活用の上、継続して地域振興等を行っていく。

■指標2の年間小売販売額について、令和4年度以降の数値が公表されていないため評価できない。
なお、この度令和3年度時点の年間小売販売額が公表されたが、コロナ禍ということもあり、当初よりも下回っている状況である。この間、国や都の補助金等を活用しキャッシュレス決済ポイント還元事業、地域振興券発行事業及び燃料費補助等物価高騰対策等の取組を実施しており、多少なりとも年間小売販売額増加に寄与していると推測する。

■指標3の滞在人口率について、令和5年度以降の数値が公表されていないため評価できない。
■指標2及び3については、国が公表している数値を根拠としていることから、公表までに年単位のタイムラグがある。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	目標を上回る結果となり、目指す姿実現に向け、効果を上げてきていると評価できる一方で、目標を下回るものもあることから、一部課題が残る
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
コロナ禍においてもにぎわいを創出するために実施してきた地域密着型イベントの「道草市」も継続して行うとともに、より多くのイベントが開催できるよう、オープンスペース等を活用した体験型・参加型イベントの仕組みづくりを行い、一層のまちのにぎわいの創出を画策していく。
また、商店街のより一層の活性化やイベント数の増加に向けて、東京都等の地域産業振興制度を活用するとともに、市補助制度の拡充等も検討していく。

施策 1 1 都市農業の振興

【Plan】

目指す姿	多面的機能を持つ農地の適正な保全を図り、有効活用することにより、都市と農地が共存し、市民生活を豊かにするまち		
主担当課	経済課	関連課	農業委員会事務局、環境政策課、都市計画課、まちづくり推進課、介護福祉課
関連計画	農業振興計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開】 ・認定・認証農業者支援事業 ・援農ボランティア養成講座 ・新規就農者に対する支援環境の整備（都市農地貸借や販路等に係る支援、認定新規就農者支援事業） 【多面的機能をいかした農地保全】 ・未来に残す東京の農地プロジェクト補助金 【持続可能な農業経営の推進】 ・学校給食への市内産農産物活用に関する支援（学校給食への市内産農産物利用促進に向けた補助） ・小金井市農業振興連合会補助金（立毛品評会、農業絵画コンクール、学童収穫体験等の実施） ・商・農・観光分野の連携によるこがねい産業祭りの開催 ・ＪＡ・市観光まちおこし協会等が開催する農業関連イベント（農家交流会、道草市、わくわく農園感謝祭、まろん食堂等）の支援	【担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開】 ・農業者が年々減っているなか、後継者や新規就農者等に対する支援環境の整備が必要である。 【多面的機能をいかした農地保全】 ・高齢化や農地保全への対応、限られた農地の有効活用、都市農業の多面的機能を通じた市民の農業への理解の醸成が必要である。 ・都市農地の貸借制度を活用することにより、後継者の他、新規就農者や農業分野外の団体等の参画も見込まれる中、農地のマッチング等の仕組みが整っていない。 【持続可能な農業経営の推進】 ・消費者ニーズと各農業者の経営に合った流通やネットワークの構築（ＩＣＴの活用含む） ・農産物の高付加価値化、6次産業化の推進

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 これまでに小金井市産農産物を購入したことがある市民の割合（アンケート）	78.1%	80.0%	71.8%	75.1%	73.1%	73.2%	
2 農業産出額	3.3億円	4.0億円	3.1億円	3.0億円	3.0億円	—	
3 農業振興計画の達成率	70.6%	80.0%	72.5%	75.0%	76.6%	76.6%	

総括・自己評価

・市内産農産物を使用した料理教室や各種収穫体験イベント、商・農・観光分野の連携による産業祭り、わくわく都民農園小金井での取組など、農業関連イベント等の開催数は増加しており、また、新たな市民農園を整備する等、各団体と連携しながら市民が「農」に触れる機会を増やすとともに、小金井農業の魅力発信を着実に進めている。

・様々な分野と連携した各種農業関連イベントは、市内産農産物の魅力をアピールする機会であるとともに、市内農業者のファンづくりの機会となっており、継続的な購入等、市内農業者の支援に資する取組となっている。

・学校給食への市内産農産物の利用促進に向けた補助制度を創設し、ＪＡ・農業者・学校栄養士等と連携しながら更なる地産地消の推進を図っている。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	各種取組を通して、市内における様々な主体との連携を深めており、前年度を上回る結果などから目指す姿の実現に向け、一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
令和3年度に策定した農業振興計画（令和4～12年度）に掲げる“「魅力」「豊かさ」「笑顔」溢れる都市農業のまち 小金井”を「農」に関わる様々な主体が目指すべき方向性として共有し、引き続き農業振興施策を展開していく。

施策12 子どもの育ちの支援

【Plan】

目指す姿	子どもの権利を保障し、安心して過ごせる居場所や様々な体験の機会を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、全ての子どもがいいきと健やかに安心して暮らせるまち		
主担当課	児童青少年課	関連課	生涯学習課、コミュニティ文化課、環境政策課、指導室、こども家庭センター、子育て支援課、企画政策課
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）、第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【子どもの居場所の提供】 ・放課後子ども教室事業の実施（生涯学習課） ・子どもの居場所を運営する団体に対する補助の実施（子育て支援課） ・児童館事業の実施（児童青少年課） 【豊かな体験や仲間づくりの支援】 ・子ども向け体験事業の実施（各課） 【子どもの権利の保障】 ・子どもオンブズパーソン相談室の運営（児童青少年課） ・子どもに関する相談事業の実施（各課） ・虐待対応事業の実施（子育て支援課） ・子どもの権利に関する子ども向けホームページの公開、中学校における出前授業の実施（児童青少年課） 【子どもの社会参画と意思の尊重】 ・「小金井を変えちゃう人の会」の開催（児童青少年課） ・子どもの意見表明やボランティア活動の場の提供（各課）	・中高生の居場所については、世代特有のニーズをとらえた居場所づくりについて検討が必要 ・子どもの社会参加や意見反映の機会を増やすとともに、そこに参加する子どもをいかに増やすかということについても検討が必要 ・子どもオンブズパーソン相談室の更なる認知向上のための取り組みの検討が必要 ・「小金井を変えちゃう人の会」の今後について、子ども自身が主体的になって決定していくための手法について検討が必要 ・庁内外における子どもの意見聴取の手法や事例についての情報提供を充実させていくことが必要

【Check】

	指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	子どもが育ちやすい環境だと思ふ市民の割合（アンケート）	62.6%	80.0%	71.2%	68.7%	63.7%	65.1%	
2	自分には良いところがあると思ふ小学生の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	85.8%	100.0%	78.5%	86.4%	83.4%	88.1%	
3	自分には良いところがあると思ふ中学生の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	71.0%	75.0%	74.5%	78.8%	82.9%	83.3%	

総括・自己評価

指標1は前年度の実績より微増したが、目標値に対する乖離はまだ大きい。目標を達成するためには、子どもの居場所づくりや体験活動を充実していく必要があるため、新たな体験活動の充実を検討していく。

指標2は当初値よりも2.3%増加し、前年度の実績より4.7%増加した。目標値達成のためには、子どもがその存在を認められ、子どもが安心して意見表明ができ、主体的に取り組む体験を増やすことが必要である。それらを実現するイベントを検討するとともに、更なる事業の周知及び参加者を増やすための取り組みが必要である。

評価

達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	すべての項目において、前年度の指標値を上回ることができたため。
-------	------------------	----	---------------------------------

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
・子ども・子育て会議等における意見や検討結果を踏まえて、子どもの居場所の充実や事業改善に取り組んでいく。 - 特に、中高生の居場所に係るアンケートを実施し、把握したニーズを児童館の今後の在り方検討の参考とする。 ・子どもオンブズパーソン相談室や子ども向けホームページ等の周知を継続していくとともに、小学校の他、新たに中学校全校で出前授業の実施し、子どもの権利に関する啓発活動を継続していく。 ・児童館や学校等を中心に、子どもの意見を聞く機会や表明できる機会を増やしていく。 ・新たな居場所づくりのひとつとして、子ども向け体験事業の充実を図る。

政策 子どもと教育

施策 1 3 子育て家庭の支援

第5次基本構想・前期基本計画
令和7年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	子育て家庭を支える施設、体制を確保し、様々なニーズに応じた支援を行うとともに、特別な配慮を要する家庭にも、きめ細やかな支援を推進することで、家庭が安らぎと笑顔に満ち、子育ての楽しさ、喜びを実感できるまち		
主担当課	子育て支援課	関連課	保育課、児童青少年課、自立生活支援課、健康課、指導室、こども家庭センター
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
のびゆくこどもプラン 小金井（令和7年度～令和11年度）策定 【子育て支援課】 ・ひとり親家庭へのホームヘルプサービス派遣を実施。 ・子育て情報の提供を実施。 【保育課】 ・施設等利用給付の上乗せ（幼稚園）を実施。 ・施設等利用給付の上乗せ（認可外保育施設）を実施。 ・認可保育所での特別支援保育を実施。 【児童青少年課】 ・学童保育所での障がい児保育を実施。 ・民設民営学童保育所を新規開設。 【こども家庭センター】 ・子ども家庭センターと母子保健機能の統合によるこども家庭センター化の実施。 ・子育て中の保護者グループ相談を実施。 ・こども家庭センター化としての事業開始。 ・トワイライトステイ事業を開始。 ・母子保健けんこう相談事業を実施。 ・産後ケア事業を実施。 【自立生活支援課】 ・小金井市児童発達支援センターきらりにおいて相談支援事業を実施。 ・医療的ケア児コーディネート事業を実施。	・学童保育所の運営・整備に当たっては、児童の安全性、保育の質に留意しつつ、緊急対応の必要なところから整備を進めることが課題。 ・ライフステージを通じた相談体制・情報提供などを充実するため、ネットワークを充実していくことが必要。

【Check】

	指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	子育て家庭への支援が充実していると思う市民の割合（アンケート）	24.6%	50.0%	31.0%	28.5%	28.1%	30.3%	
2	妊娠、出産、子育ての不安や悩みを周囲の人々や行政の窓口相談しやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	19.8%	40.0%	27.6%	24.5%	23.8%	23.7%	

総括・自己評価

指標1は令和5年度に実施した「のびゆくこどもプラン 小金井」策定に係るニーズ調査や令和6年度に実施した子どもの意見聴取の際に、地域における子育て・子育て環境や地域で子どもに関するイベント、交流、支援活動等を紹介するサイトや刊行物等を普及させる機会を作った成果が少しずつ出てきていると考える。 指標2は令和6年4月1日から、これまでの子ども家庭支援センターに母子保健事業を統合し、新たにこども家庭センターとして開設したものの、市民の方々が相談しやすい行政の窓口が身近に不足していることが要因と考える。
--

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	前年度に比べて一部の指標の数値が減少したため、この評価とした。
-------	--------------	----	---------------------------------

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
のびゆくこどもプラン 小金井（令和7年3月策定）で掲げる重点事業（子育て情報の提供や子育て総合相談）を中心に引き続き取り組んでいくとともに、令和6年4月1日から設置しているこども家庭センターの広報に努めていく。また、子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域子育て相談機関を増やしていく。

施策14 子育て・子育て環境の充実

【Plan】

目指す姿	次世代の小金井市民を育てていくための地域環境を整備することによって、地域の様々な人々の関わりにより、安心して、楽しく、豊かな子育て・子育てができるまち		
主担当課	子育て支援課	関連課	保育課、児童青少年課、コミュニティ文化課、指導室、生涯学習課、公民館
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
のびゆくこどもプラン 小金井（令和7年度～令和11年度）策定 【子育て支援課】 子育て・子育てネットワーク協議会の運営（加入団体数：116団体（令和7年3月末日現在））。 【各課】 子どもが参加できる行事の促進を実施。	・市の施策や市民活動等に関する情報の広報が課題。情報の周知不足により、市民の方々に認知されていない可能性がある。 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数が期待したほど伸びていない。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	地域における子育て・子育て環境が充実していると思う市民の割合（アンケート）	29.5%	50.0%	36.2%	32.5%	33.8%	35.1%	
2	地域で子どもに関係するイベント、交流、支援活動が活発に行われていると思う市民の割合（アンケート）	32.2%	60.0%	33.0%	36.6%	35.2%	38.6%	

総括・自己評価

いずれの指標も昨年度から増加した。令和5年度に実施した「のびゆくこどもプラン 小金井」策定に係るニーズ調査や令和6年度に実施した子どもの意見聴取の際に、地域における子育て・子育て環境や地域で子どもに関するイベント、交流、支援活動等を紹介するサイトや刊行物等を普及させる機会を作った成果が少しずつ出てきていると考える。
--

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	いずれの指標も増加したため、この評価とした。
-------	---------------	----	------------------------

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
のびゆくこどもプラン 小金井（令和7年3月策定）においても継続して掲げる重点事業（子育て・子育て支援ネットワーク協議会への参加団体増や、子どもに配慮した公共施設の改修、特に市立公園におけるインクルーシブデザインに配慮した遊具の設置検討）を中心に引き続き取り組み、子育て・子育て環境の充実に努めていく。

施策 15 学校教育の充実

【Plan】

目指す姿	一人ひとりの子どもが未来を創造する当事者として、活発な好奇心を持ち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに育つための学校教育が充実しているまち		
主担当課	指導室	関連課	学務課
関連計画	第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【指導室】不登校施策を多面的に展開 → 校内別室指導の拡充、学校家庭連携推進事業の実施、メタバース空間での学習等支援、もくせい教室機能強化 【指導室】教員働き方改革の推進 → 小学校低学年に副担任配置、部活動指導員の増員 【指導室】体験活動の充実 → 英語体験型学習施設に児童派遣、海移動教室の見直し、全国でも例のない森林体験実施 【指導室】新たな学校教育への試み → ディスレクシアへの支援、水泳指導外部委託の試行 ※ディスレクシア：読み書きが困難な児童生徒など 【学務課】きめ細やかな相談を保護者向けに展開 → 要件に当てはめる説明型から納得感重視型へ 【学務課】就学後にも寄り添った相談業務を展開 → 就学先決定後の悩みにも耳を傾ける伴走型相談の実施	・学校教育の強化や教員働き方改革の推進のため、国や都は、様々な施策を矢継ぎ早に展開。予算も大幅増。それを受けた学校現場では、教職員が増え、新たな事業が展開されるなど執行体制は年々強化。そうしたなか、国・都・学校の間に入る市教育委員会の体制も同様に強化することが事業展開の停滞を起こさないために必要 ・社会的価値観が多様化し、個別ニーズにきめ細やかに対応することがますます重要。集団での教育活動が基本となる学校において教育内容を個別最適させるには、ICT環境の改善や教室不足への対応といったハード面並びに教育相談機能の拡充、不登校施策の多様化、教職員の充実及び教員スキル・知見の高度化といったソフト面の強化が重要。この方向性に沿って少しずつ前進しているが、未だ十分とは言えず、不断の見直しと引き続きの強化が必要

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	小学校 85.6%	小学校 100.0%	小学校 85.1%	小学校 85.5%	小学校 87.1%	小学校 83.4%	
		中学校 75.4%	中学校 100.0%	中学校 80.3%	中学校 82.7%	中学校 84.4%	中学校 84.5%	
2	授業が分かると回答した児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	小学校 87.3%	小学校 100.0%	小学校 88.2%	小学校 86.4%	小学校 84.5%	小学校 86.6%	
		中学校 72.7%	中学校 100.0%	中学校 79.1%	中学校 82.5%	中学校 79.5%	中学校 85.1%	

総括・自己評価

多岐にわたる学校教育の全般で、様々な施策を精力的に企画し、実施した。

不登校施策では、教室に入りづらい子どもが登校し易くなる校内別室指導を拡充し、学校家庭連携推進事業を新たな学校で展開したほか、WEB上での仮想学校の設置や不登校対策委員会を新たに立ち上げるなどした。

授業内容の改善では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校長会での説明や研修会の開催を通して、具体的対応等に係る意識啓発に努めた。

体験活動の充実では、海の移動教室（小5）の実施場所を数十年ぶりに変更（勝浦市→南房総市）し、泊数を適正化（2泊→1泊）するなど、あり方を大きく見直した。林間学校（小6）では、千人規模の森林体験事業を全国でも例がないスキームで実施し、自然現象と有機的な結びつきを有する森林を舞台に、都会に暮らす児童にとって貴重な学習の場を提供することができた。

その他、いじめ防止を推進するために「市いじめ防止基本方針」を改定したほか、持続可能な水泳指導のあり方を構築するための授業水泳の外部委託の試行など多様な事業を積極的に展開したこと等により、上記指標はいずれも80%以上となるなど、児童生徒にとって価値ある学校教育を提供することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	新規事業を次々に展開する点は本市学校教育の特色の一つになりつつあり、そうした姿勢が本市学校教育に対する保護者の信頼感醸成の基盤にもなっているため
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
・不登校対策を更に拡充する。具体的には、校内教育支援センター事業を新たに始めるほか、不登校巡回指導教員を配置する。 ・水泳指導外部委託の試行は、スキームをあえて大きく変更し、持続可能な水泳授業のあり方を別の角度から検討する。 ・学習に困難を抱える子の要因を専門家の知見を得ながら分析し、個別最適化された支援のあり方をより高度に探る。 ・体育健康教育や人権教育など特定の教育課題に関して、一部学校を重点校として指定し、効果的な授業展開等の研究を進める。 ・森林体験事業の内容について、学習内容をより効果的にするために、協働事業者である大学や林業者と協議し、改良する。

施策16 学校環境の整備

【Plan】

目指す姿	安全で安心な学習環境の整備・充実に取り組むことで、児童・生徒が学習に集中することができ、豊かな学びと育ちを支える学校環境があるまち		
主担当課	庶務課	関連課	学務課、指導室
関連計画	第3次明日の小金井教育プラン、学校施設長寿命化計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【庶務課】 ・小金井第一小学校校舎改築等設計委託を完了 ・東小学校増築校舎賃貸借を開始 ・緑小学校校舎増築等実施設計委託を継続 ・小中学校トイレにおける洋便器化等改修工事を実施 【学務課】 ・学校ネットワーク構築委託事業を実施 ・屋内運動場エアコン賃貸借事業を継続 ・通学路防犯カメラ管理事業を実施	【庶務課】 ・児童生徒数及び学級数の動向を引き続き注視し、必要となる施設整備を行っていく必要がある。 ・小中学校のトイレ環境について洋式化率の更なる向上に取り組んでいくとともに、学校施設全体の老朽化対策とのバランスを取りながら改善を検討する必要がある。 【学務課】 ・学校ネットワークについては、児童生徒数が増大しており、通信料、必要環境が毎年増大している。 ・児童生徒数増加による学級数増に伴うエアコン増設、老朽化による入替え等、維持管理コストが増加しつづけている。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子どもが義務教育を受ける環境として学校施設が充実していると思う市民の割合（アンケート）	36.4%	60.0%	46.1%	38.7%	42.0%	39.6%	
2 学校施設の長寿命化計画の達成率	—	11.0%	—	—	—	—	
3 週1回以上授業でICT機器を使用した児童・生徒の割合	30.6%	100.0%	54.2%	87.5%	84.6%	94.2%	

総括・自己評価

・法改正による小学校学級編成標準の引き下げに基づき、小学校の学級数推計を行い、大規模校化が顕著となる小学校の増改築等設計委託業務を実施するなど、児童数・学級数の増加対応と長寿命化計画に基づく施設の老朽化対策を適切に進めている。

・四小・南小・緑中においてトイレの洋便器化等改修工事を行い、令和6年度末の洋式化率を約80%とし、小中学校のトイレ環境を向上させた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	トイレ洋式化率の向上や東小学校増築校舎の賃貸借開始など、学校環境整備の推進により、目指す姿の実現に受け一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

・児童数及び学級数の増加に伴う校舎増築の検討や、普通教室を確保するための改修工事を適切に行っていく。

・令和2年度に策定した「学校施設長寿命化計画」について文部科学省の指針や市の計画、学校施設の現状を踏まえ、より実効性のある計画へとするための改定業務を引き続き実施する。

・小中学校のネットワーク及びエアコンについては、現行設備を維持するとともに、必要な教室への計画的拡充により、さらなる環境改善を実施する。

施策17 芸術文化の振興

【Plan】

目指す姿	日常の中で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得て、一人ひとりが個々の感性で芸術文化を主体的に楽しみ、心豊かに暮らしていけるまち		
主担当課	コミュニティ文化課	関連課	
関連計画	第2次芸術文化振興計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
■芸術文化振興計画推進事業 市民全体のワークショップ（「高齢者のためのはじめての映像制作の会」、「0、1歳のための初めての芸術文化体験連続講座」、「多様な視点に気づき、表現につなげるワークショップ」） ■市民交流センター 貸館事業、共催事業（「キッズ・カーニバルKOGANEI 2024」、「夏休み木工チャレンジ2024」等）、自主事業（「こがねいガラ・コンサート」、「渡辺貞夫カルテット2024」、「ミシェル・ダルベルト」等） ■はけの森美術館 展覧会（中村研一の往還― 都市、郊外、道の向こう―、富永親徳という近代洋画家がいた― 記録と場所をたどる ―、ナカムラケンイチのシン人物画鑑賞）を実施。他、関連ワークショップ、ギャラリーコンサートを実施。	■施策全体の課題 ・芸術文化は成果評価指標を定めることが難しい分野であるが、第2次芸術文化振興計画（前期）の評価に向けて、成果評価指標等を検討する。 ■事業の課題 ・公立文化施設の事業連携を進める。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	直近1年間で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得たことがある市民の割合（アンケート）	48.6%	55.0%	35.2%	44.0%	49.5%	49.8%	
2	芸術文化振興計画の達成率	—	80.0%	50.0%	53.0%	56.0%	59.0%	

総括・自己評価

市民交流センターでは、約5年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響を受けず事業を実施することができ、日本のアーティストだけではなく、海外アーティストによる公演も積極的に行えるようになった。貸館利用率はコロナ禍前に戻り、各事業への参加者も昨年に比べ増加し、芸術文化への関心が高くなっていることが伺える。 はけの森美術館では、国登録有形文化財5周年を記念し花侵庵（茶室）を活用した関連ワークショップを実施した。

評価

達成度合い	一定の成果があげられている	理由	多種多様な催しを行い、参加者等も増えていることから、一定の成果があったと考える。
-------	---------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
芸術文化振興計画推進委員会で事業の評価方法について検討を進める。

施策18 国際交流・都市間交流の推進

【Plan】

目指す姿	国際交流事業や、友好都市三宅村を始めとした他自治体との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深めるとともに、交流の輪を広げていくまち		
主担当課	コミュニティ文化課	関連課	
関連計画			

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
■国際交流事業 令和6年度は「漫才ワークショップ」、「防災館バスツアー」、「第12回小金井市日本語スピーチコンテスト」、「やさしい日本語講座」、「国際交流ミニ運動会」を実施した。 ■他自治体との交流 三宅村との親善交流の機会を作るため、小金井三宅島友好協会へ補助金を交付。また、小金井市の小学生を三宅島に派遣する「青少年・自然文化体験交流事業in三宅」を実施した。	■他自治体との交流 市内の国際交流及び三宅村への友好親善を進めてきた関係各団体の高齢化が顕著となっている。今後の市内交流の促進には、新たな担い手の確保が長期的に見て必要となっている。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で異文化に触れる機会が増えたと思う市民の割合（アンケート）	11.2%	20.0%	11.1%	13.4%	15.9%	20.7%	
2 交流事業参加人数	285人	310人	30人	90人	177人	178人	

総括・自己評価

指標1については、国際交流事業では、各事業の内容の改変など交流の促進を図れるよう市内国際交流団体と協働して事業実施に努めた。昨年度にも実施した国際交流ミニ運動会では外国人の参加者が増加するなど、各団体を通じた周知の強化に伴い、外国人の交流事業への参加増につながっている。

指標2については、昨年度同様の水準となっており、今後の更なる周知の強化によって、交流への意識の向上につなげる必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	昨年度と同程度の参加人数は確保しており、各実施事業についても適切に改善が図れたため。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

国際交流について、各事業ごとの関係団体の体制も変わっており、新たなイベントのあり方を模索し、さらなる異文化体験につながる多様な機会を作ることを目指す。

他自治体との交流について、青少年・自然文化体験交流事業in三宅について内容の精査を行い、参加者のさらなる交流の促進を図る。また、小金井三宅島友好協会と連携し、今後の親交の育みについて検討する。

施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重

【Plan】

目指す姿	人権や平和に対する意識や、男女が互いに認め支え合う意識を高め、誰もが個人として尊重され平等に暮らせる、一人ひとりが輝いて生きることができるまち		
主担当課	企画政策課（男女）	関連課	広報秘書課
関連計画	第6次男女共同参画行動計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【人権】 ・人権講座（参加者数118人） ・職員向け人権研修（参加者数35人） ・その他（人権身の上相談、人権パネル展等） 【平和】 ・非核平和映画会（参加者数62人） ・小金井平和の日記念行事（参加者数58人） ・その他（原爆写真パネル展、非核横断幕掲出等） 【男女共同参画】 ・令和6年度男女共同参画シンポジウム（参加者数10人） ・第38回こがねいパレット（参加者数38人） ・情報誌「かたらい」第60号・61号の発行 ・女性総合相談事業（相談件数148件） ・女性のための再就職支援講座（参加者数9人） ・DV防止普及啓発パネル展 ・性の多様性への理解促進研修（参加者数29人） ・性の多様性への理解促進講座（参加者数6人） ・性の多様性への理解促進パネル展 ・若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業	【人権・平和】 人権や平和に対する意識の啓発としては、イベント等の実施が主となるため、時代に即した形で継続した取組が必要である。 【男女共同参画】 男女が互いに認め支え合う意識の啓発としては、イベントの開催や研修の実施、広報物による情報発信等を通じた継続的な取組が求められるが、イベント等への参加者数の伸び悩みが大きな課題である。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	人権・平和が尊重されていると感じる市民の割合（アンケート）	37.9%	45.0%	43.5%	41.9%	42.0%	40.9%	
2	日常生活において男女が平等であると感じる市民の割合（アンケート）	36.6%	40.0%	36.4%	36.8%	37.1%	37.3%	
3	人権・平和のイベント参加率	66.3%	75.0%	68.6%	68.4%	62.2%	52.9%	
4	男女共同参画行動計画の達成率	—	80.0%	83.8%	99.3%	99.3%	—	

総括・自己評価

【人権・平和】
人権・平和のイベントは、無料のため当日キャンセルが多く参加率が上がらないが、参加者アンケートによると、人権意識が高まったとした回答が86%、平和意識が高まったとした回答が78%で、人権・平和意識の啓発に効果があった。
【男女共同参画】
男女共同参画行動計画の達成率としては、前年度並みを維持した事業が多かったため、昨年度同等の水準を維持できた。第38回こがねいパレットにおいては、著名な講師を招いたことから、定員を超える申込みがあるほどの盛況であり、他の男女共同参画施策の事業周知の良い機会ともなった。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標について一部前年を下回る結果となり、さらにイベント参加者数の伸び悩みという課題はあるものの、参加者に対する意識啓発という目指す姿の実現に向けた成果はあったと判断し、一部の成果が上がったと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
目指す姿に向けて、引き続き事業や啓発活動に取り組んでいく。

政策 文化と生涯学習

施策20 生涯学習の振興

第5次基本構想・前期基本計画
令和7年度 施策評価シート

【Plan】

目指す姿	誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境や機会を持ち、人生100年時代に向けて、地域コミュニティとのつながりをいかし自己実現と地域貢献ができるまち		
主担当課	生涯学習課	関連課	図書館、公民館
関連計画	第4次生涯学習推進計画 第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【全市民的な生涯学習活動の推進】 ・幅広い年齢層に対して、各種講座やイベントをオンライン等の幅広い手法により、開催した。（図書館・公民館） ・図書館本館の開館時間を拡大し、市民利用の向上に寄与した。（図書館） 【生涯学習を通じた地域づくりの推進】 ・放課後子ども教室をすべての小学校で平日は毎日開催するように拡充し、安全・安心な子どもの居場所を確保した。 ・地域学校協働本部を市内小中学校全校に設置し、地域学校協働活動を推進した。（生涯学習課） 【幅広い郷土意識の喚起】 ・「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」を実施し、市民、特に若年層への普及啓発を強化した。（生涯学習課） ・市内小学校への出前授業や小平市と共催での史跡めぐり等を実施した。（生涯学習課）	・生涯学習関連施設が全体的に老朽化しており、利用者の安全性、利便性等を考慮して適切な維持管理が求められる。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合（アンケート）	31.2%	40.0%	29.4%	36.4%	40.7%	36.1%	
2	生涯学習推進計画の達成率	—	80.0%	66.7%	77.8%	66.7%	55.5%	

総括・自己評価

指標1は令和5年度に引き続き、各種講座やイベントも通常通りで開催できたので、生涯学習に触れる機会の提供については、一定の成果があったと考える。 指標2は第4次小金井市生涯学習推進計画の「計画の進捗を把握するための指標」の数値を前年度と比較して算出している。各事業とも工夫を凝らして実施し全体としては生涯学習の推進について一定の成果があげられたと考える。 「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」を実施し、庁内各課・多くの市民・市内団体・市内事業者等と協力し、記念式典・お祝いの会・記念植樹・記念ホームページ立ち上げなど70以上もの事業を実施した。今後も「次の100年」に向けてより一層の普及啓発に努める。
--

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	指標1、指標2ともに昨年度よりポイントは下がっているが、例年のどおりの事業実施に加え、今年度は名勝小金井（サクラ）記念事業を実施しており、一定の成果が上がっていると判断したためこの評価とした。
-------	---------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
・学校、家庭、地域をはじめ、企業、大学、NPO法人などがつながる仕組みを構築し、地域ぐるみで生涯学習の活性化を図る。 ・第4次生涯学習推進計画の進捗を踏まえ、関係機関や団体等から幅広く情報を収集し、第5次生涯学習推進計画を策定する。

施策21 スポーツの振興

【Plan】

目指す姿	「豊かな生涯をスポーツとともに」を基本理念に、スポーツに気軽に親しむことができる環境や機会があり、誰もが楽しく元気に、仲間づくりを通して、生活の豊かさが向上されていくまち		
主担当課	生涯学習課	関連課	
関連計画	スポーツ推進計画、第4次生涯学習推進計画、社会教育関係施設個別施設計画等		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【生涯学習課】 ・スポーツ推進審議会の運営 ・学校部活動地域連携に関する検討委員会の運営 ・市民体育祭、シニアスポーツフェスティバル、スポーツフェスティバル等の実施 ・総合体育館・栗山公園健康運動センターにおいて令和7年度から令和11年度までの指定管理者を選定	・上水公園運動施設・小金井市テニスコート場の管理棟は社会教育関係施設個別施設計画で維持管理計画の対象施設となっているが、グラウンドやテニスコート場といった屋外スポーツ施設の適正な維持管理計画がないこと。 ・スポーツを行うための各種体育用品・設備・備品の入替・修繕計画がないこと。 ・市内には運動施設が少ないため、民間スポーツ施設と連携を図り、市民がスポーツに親しむ機会を増やすこと。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 週に1回以上スポーツを実施している市民の割合（アンケート）	52.6%	65.0%	54.5%	63.2%	52.1%	54.6%	
2 市スポーツ施設の利用者数	536,458人	600,000人	299,112人	350,410人	394,665人	407,445人	

総括・自己評価

指標1については増加しており、今後も運動・スポーツへの関心の喚起等を行いながら取組を継続する。 指標2については、過去数年間、感染症の拡大防止のための一部利用制限等による休館（場）があったが、利用者数は増加傾向にある。利用者にとって負担や不便が生じることのないよう配慮し、より使いやすい施設となるよう維持管理を行いながら、多くの市民が利用できるよう努めていく。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	市民のスポーツ実施率やスポーツ施設の利用者数が回復傾向であり、一定の成果が上がっているものと判断したためこの評価とした。
-------	---------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
令和5年3月に策定した第2次小金井市スポーツ推進計画に掲げた基本理念の実現に向け、誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進、運動・スポーツを通じた健康づくり等に取り組んでいく。

施策22 福祉のまちづくりの推進

【Plan】

目指す姿	福祉における制度の枠組みを超え、地域の高齢者、障がいのある人、子どもなど全ての人々が支え合う体制・環境を実現することで、互いに助け合いながら安全・安心な生活を送ることができるまち		
主担当課	地域福祉課	関連課	介護福祉課、自立生活支援課
関連計画	第3期保健福祉総合計画、成年後見制度利用促進基本計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
- 重層的支援体制整備事業の本格実施に向けて総合的な相談体制の構築に関する庁内検討委員会を開催 - 重層的支援体制整備事業実施計画を策定	- 連携する支援関係機関の間で、目標や情報の共有が不十分である。 - 地域コミュニティの希薄化や孤独・孤立といった課題がある。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	困った時に地域で助け合える関係性を持っている市民の割合（アンケート）	46.1%	80.0%	42.7%	44.3%	42.8%	39.4%	
2	地域福祉計画の達成率	40.0%	80.0%	50.0%	53.3%	66.7%	80.0%	

総括・自己評価

指標1については、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、重層的支援体制整備事業実施計画を策定した。令和7年度の本格実施後は、これまでの取組に加えて、社会とのつながりを作る参加支援事業および地域づくりに向けた支援を行う。

指標2については、地域福祉計画の基本目標にある包括的支援体制の構築における福祉総合相談窓口の整備、相談支援体制の充実から評価を行い、住民に身近な圏域における相談体制の充実を図るための包括化推進員（地区担当）の計画的配置が完了した。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標2のとおり、計画的な相談体制の充実を図ってきたが、指標1の割合が低下しており、施策の効果が十分に表れていないため、この評価とした。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

令和6年度に策定した重層的支援体制整備事業実施計画に基づき、支援関係機関等との連携による支援を行うとともに、地域コミュニティの希薄化や孤独・孤立といった課題に対しても支援を行う。

また、成年後見制度利用促進基本計画の計画期間が令和7年度までのため、令和7年度中に次期計画の策定を行う。

施策23 高齢者の生きがいの充実

【Plan】

目指す姿	高齢者の地域での社会参加を促進することで、生きがいを持ち続け、安心して暮らせるまち		
主担当課	介護福祉課	関連課	経済課
関連計画	第9期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【介護福祉課】 ・介護支援ボランティアポイント事業を実施 ・小金井シルバー人材センター補助事業を実施 ・介護予防・フレイル予防のための事業を実施 ・地域の居場所（認知症カフェ含む）に対する支援の実施 ・高齢者のデジタルデバйд解消（ICTの普及啓発）のための事業を実施 【経済課】 ・高齢者農園事業を実施	・新型コロナウイルス感染症拡大後、社会参加・ボランティアの活動量の減少が続き、以前の水準に戻っていない。 ・高齢者の多様化しているニーズに対応した事業実施等が必要である。 ・小金井シルバー人材センター補助事業を実施しているが、当該法人が過度に補助金に依存することなく、独自に収益を上げながら、持続可能なセンターの運営ができるよう経営体力を付けることが必要である。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	直近1年間で社会活動・ボランティア活動に参加したことがある高齢者の割合（アンケート）	29.9%	35.0%	24.9%	22.6%	24.1%	23.6%	
2	介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画の達成率	—	80.0%	89.7%	97.1%	100.0%	98.7%	

総括・自己評価

指標1：高齢者の社会参加等を促すため、講座や教室等の事業を通じて社会参加の効果や事業の周知を積極的に行った。また、より具体的な取組として、地域で活動している団体の活動発表等の場を設け、参加促進支援を行うことができた。

指標2：概ね計画どおり推移している。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	活動量は増えていかないものの、社会参加を促す取組は増えている。また、現計画に掲載される事業において、概ね施策内容を達成したことからこの評価とした。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

引き続き、多様化している高齢者のニーズに応じた社会参加の機会促進に向けて取り組んでいく。
指標の目標達成に向けて、第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に基づき、取り組んでいく。

施策24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実

【Plan】

目指す姿	医療や介護の専門職だけではなく市民主体の生活支援の取組なども支援することで、高齢者が住み慣れた場所で自立した生活が続けられ、いつまでも自分らしく暮らすことができるまち		
主担当課	介護福祉課	関連課	地域福祉課、保険年金課、健康課
関連計画	第9期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
・介護予防の推進（介護予防講座・教室等の実施、総合事業における短期集中サービスの実施、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 等） ・在宅生活支援の充実（地域包括支援センターの機能強化、介護者の負担軽減の推進 等） ・認知症施策の推進（認知症の理解促進（認知症サポーターの養成）、早期診断・早期対応の充実、居場所（認知症カフェ等）づくり 等） ・在宅医療と介護の連携の推進（同推進に係る検討会議及び同会議内の4部会の実施、同連携及びACPに関する普及啓発活動の実施 等） ・生活支援体制整備の推進（地域ケア会議の実施、地域の居場所に対する支援の実施 等）	・いずれの事業にも個別の課題はあるが、総じて普及啓発を通じて、市民に正しい理解を促すことが必要である。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	高齢者が暮らしやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	41.2%	50.0%	50.5%	45.7%	44.0%	42.5%	
2	認知症サポーター養成者数	6,751人	8,850人	7,824人	8,626人	9,288人	10,112人	

総括・自己評価

指標1については、事業自体は多岐にわたるものの、介護保険運営協議会、認知症施策事業推進委員会、在宅医療・介護連携推進会議等で各事業の進捗等を報告し、目標管理を行っている。成果としても着実に目標に向かっており、施策全体の目指す姿に向けて近づけていると考えている。

家族支援に関して、家族会や介護教室等を実施するとともに、相談の中心機関である地域包括支援センターの周知や機能強化を図り、介護者の孤立防止や、負担軽減に努めている。

指標2については、地域包括支援センターと連携し、小・中学校等の協力も得ながら、多世代に対して認知症サポーター養成講座の周知と実施を行った。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	施策全体の目指す姿に向けて成果が上がっているため。
-------	--------------	----	---------------------------

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

指標の目標達成に向けて、第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に基づき、引き続き取り組んでいく。

施策25 障がい者福祉の充実

【Plan】

目指す姿	障がい者の生活・就労支援、地域における交流の場を設けることへの支援を通じ、障がいのある人もない人もそれぞれが尊厳ある一人の市民として自立し、住み慣れた地域で共に支え合うことにより、生涯安心して暮らしていけるまち		
主担当課	自立生活支援課	関連課	地域福祉課、介護福祉課、健康課、子育て支援課、保育課、児童青少年課、指導室、まちづくり推進課
関連計画	障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
・障害者福祉センターの緊急一時保護室の改修 ・通所事業所連絡会の設置 ・日中活動系サービス推進補助金のメニューの拡充	・引き続き、共生社会実現に向け市民へ幅広く普及啓発するための方策の検討が必要

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	障がいのある人もない人も共に暮らしやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	29.0%	55.0%	33.6%	29.1%	31.8%	28.8%	
2	障害福祉計画の達成率	—	80.0%	55.3%	50.0%	52.0%	57.0%	

総括・自己評価

指標1については、アンケート指標の数字は下がっているものの、緊急一時保護室の改修や差別対応に係る整理等、障害のある方の安心につながる事業を実施できた。
指標2については、日中活動系サービス推進事業の拡充や、通所事業所連絡会の設置等、障害福祉計画に基づくサービス提供体制の確保につながる事業を実施できた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	通所事業所連絡会の設置による障害福祉サービスのネットワーク構築や、特定相談マニュアルの作成による差別対応の整理など、昨年の課題にあげていたものに一定の進捗があったため。
-------	---------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

令和6年3月に策定した障害者計画・第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画に基づき、障害福祉の充実に取り組んでいく。また、共生社会の実現に向けて障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例の見直しに係る検討を進める。

施策26 健康の維持・増進

【Plan】

目指す姿	生活習慣病と健康づくりに関する正しい情報の普及と共有や、医療体制を強化することにより、私たちが生涯を通じて健康的で質の高い生活を送ることができるまち		
主担当課	健康課	関連課	保険年金課、こども家庭センター
関連計画	健康増進計画・国民健康保険データヘルス計画・国民健康保険特定健康診査等実施計画・東京都後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業実施計画		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【健康課】 ・男性HPVワクチン予防接種の費用助成 ・がん患者へのウィッグや補正具等の購入費助成 ・新型コロナウイルスワクチンの費用助成 ・受動喫煙防止対策ガイドライン策定 ・独自健康診査の拡充（肺がん検診の個別化）	・食育への関心が低下傾向である。 ・がん検診の受診率が低く、受診率を向上させる必要がある。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合（アンケート）	75.8%	80.0%	82.1%	80.0%	73.5%	76.6%	
2	食育の取組で、主食・主菜・副菜がそろっている栄養バランスの取れた食事に気を付けている市民の割合（アンケート）	80.8%	90.0%	78.5%	76.4%	76.8%	76.1%	
3	定期的に地域・職場などの健康診断を受けている市民の割合（アンケート）	86.5%	90.0%	82.7%	82.1%	84.3%	86.7%	

総括・自己評価

指標1については、指標実績が上昇している。自身の健康増進を意識している市民は多いと分析されることから、従来どおりの取組を継続していくほか、健康寿命の延伸とともに検診の重要性について周知・啓発を行っていく。

指標2については、指標実績が若干下降しており、食育への関心が低下傾向にあることは課題と認識している。様々の機会を捉えて、食育の重要性について啓発を行う。

指標3について、コロナ禍での受診率低下から回復傾向になり、健康意識の高さがうかがえる。この機を捉えて健康診査、各種検診等の受診率を向上させ、生活習慣病等を早い段階から予防し、健康で質の高い生活を送ることができるようにする。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	目指す姿実現に向け、一部の成果を上げたと評価した。
-------	---------------	----	---------------------------

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

健診（検診）事業については、定期的に健診等を受診する重要性を周知・啓発し、受診しやすい仕組みを検討する。

健康教育事業については、連携協定先とも協力し各種講座を開催し、市民への健康づくりに関する情報を提供していく。

第3次健康増進計画、第2次小金井市自殺対策計画及び第4次食育推進計画に基づき、各種事業を推進する。

施策27 市民参加・協働の推進

【Plan】

目指す姿	多様な市民の意思を市政に取り入れることで、私たちみんなの力で地域課題を解決するまち		
主担当課	企画政策課	関連課	コミュニティ文化課、広報秘書課
関連計画			

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【企画政策課】 ・市民参加推進会議より「若者等サイレント層の市民参加について」の提言があり、それに対する市長意見を公表した。 【コミュニティ文化課】 ・協働事業提案制度の2か年提案に関する見直し、改正を行い、選考過程や評価方法について具体的にした。 ・令和6年度に採択された2事業について実施 - 市民提案型「『小金井平和の日』制定10周年記念・こがねいデジタル平和資料館の設立」 - 行政提案型「小金井魂炸裂！！俺たちの人生の舞台はここだ！」、「小金井魅力発見！市歌『光さす野辺』みんなで作ろうミュージックビデオ！（2年目）」 ・職員向け協働理解促進研修を昨年度に引き続き実施した。 ・NPO法人連絡会と協働で「協働講演会」を実施した。 【広報秘書課】 ・市民の声（市長へのEメール、市長へのFAX、意見・要望カード、投書、電話等）（287件） ・市長への手紙（無作為抽出2,000人、回答者数509人、回答率25.5%） ・みんなのタウンミーティング（11回） ・町会長・自治会長連絡会（全体会1回、ブロック会4回） ・市報に町会・自治会加入促進記事の掲載	【企画政策課】 ・若者等サイレント層の市民参加 【コミュニティ文化課】 ・2か年の採択実績を参考に今後の制度全般における見直し内容を検討していく。行政提案型協働事業の参加課を増やすため、庁内の需要の掘り起こしが必要である。 ・協働相手である市民団体との情報共有や事業運営の支援を行う。 【広報秘書課】 ・町会・自治会の加入率の低下

【Check】

	指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	「地域課題の解決に向けて、市民もまちづくりに参加している」と思う市民の割合（アンケート）	21.0%	50.0%	22.1%	23.0%	19.8%	24.1%	
2	直近1年間で地域活動に参加したことがある市民の割合（アンケート）	26.1%	50.0%	19.7%	21.7%	21.0%	20.7%	

総括・自己評価

【企画政策課】 市民参加推進会議から令和5年度に実施した若者等議会の検証結果を基に、情報発信・広報の精査及び市民参加の裾野を広げるための提言をいただいた。 【コミュニティ文化課】 令和5年度に2年間の採択事業となった行政提案型については、1年目（令和5年度）の事業を基に、2年目（令和6年度）を発展的内容とし事業を実施した。一つ一つの事業内容の満足度は高く、協働の理解促進につながった。 【広報秘書課】 市報1面で、町会・自治会の活動を紹介し、加入促進を図った。また、町会長・自治会長連絡会で運営に関する悩み等（役員の負担軽減、加入促進）について、相互共有・意見交換を行った。
--

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標の目標に向け各種取組を行っているものの、達成には程遠い状況である。
-------	--------------	----	-------------------------------------

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
【企画政策課】 提言内容を基に、若者等サイレント層の市民参加拡大につながる方策を引き続き研究・検討していく。 【コミュニティ文化課】 各事業を通して、協働に対する理解の促進を進めていく。 【広報秘書課】 町会・自治会との意見交換・課題把握に努めていくとともに、今までの手法にとらわれることなく、効果的な形で町会・自治会への加入促進を応援していく。

施策28 積極的な情報発信

【Plan】

目指す姿	開かれた市政を実現し、私たちが暮らす小金井市の魅力を広く発信することで実現する、多くの人から選ばれる「住みやすい」「住み続けたい」「住んでみたい」まち		
主担当課	広報秘書課	関連課	企画政策課、情報システム課、総務課
関連計画			

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【広報秘書課】 ・SNS等を活用した広報活動推進事業を実施（市公式X、LINE、Youtube） ・ホームページ運用事業を実施 ・市報編集・発行事業を実施（令和6年8月1日号から紙面をリニューアル） 【広報秘書課・企画政策課】 ・シティプロモーション事業を実施 【企画政策課】 ・イメージキャラクター広報活動事業を実施 【情報システム課】 ・オープンデータ公開推進事業を実施 【総務課】 ・個人情報保護制度についての研修を実施	・必要な情報を届けるために、積極的かつ効果的、効率的な情報発信を行うとともに、情報が多くの市民の方々に分かりやすく伝わるような工夫が求められている。 ・シティプロモーション基本方針に基づき、市の魅力や特徴を内外に発信していくにあたり、どのようなビジョンを持って、どのように発信していくかを明確にしておく必要がある。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	市報やホームページなどで必要な行政情報が入手できていると感じる市民の割合（アンケート）	52.8%	65.0%	61.6%	58.7%	56.4%	58.1%	
2	小金井市公式ツイッターのフォロワー数	5,822人	7,569人	7,681人	7,989人	8,493人	9,279人	

総括・自己評価

指標1については、アンケート指標は微増しているものの大きな変化はない状況であるが、市報に掲載した内容に合わせてホームページに掲載し、その内容にリンクさせて、市公式XやLINEでの積極的な情報発信に努めている。また、市報については、読みやすく、わかりやすい紙面を目指し、全面的にリニューアルしたため、今後のアンケート結果を注視していきたい。

指標2については、市公式Xのフォロワー数は、概ね良好に推移し、特に令和5～6年度にかけては大きく伸びており、各課において効果的に活用したことで、市公式Xへの認知が進んだものと考えている。また、市公式LINEについても着実に友達登録者数が増えており、プッシュ型情報発信ツールとして期待しているため、より良い運用方法を検討していく。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	市報のリニューアルを踏まえ、魅力を発信していく上で必要な情報発信は適切に行われているものと評価しているが、シティプロモーションにおける明確なビジョンの検討等、引き続き課題がある。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・市ホームページについては、令和8年2月のリニューアルに向け、市民にとって知りたい情報が探しやすくなり、使いたくなるようなホームページを目指し、事業者や関係課との調整を進める。
- ・現行のシティプロモーションにおける課題等を踏まえて、今後の方向性等を引き続き検討していく。

施策29 計画的な行財政運営

【Plan】

目指す姿	長期総合計画に基づく施策を着実に実施し、持続可能な行財政運営と市民サービスの維持・向上を実現するまち		
主担当課	企画政策課（行政経営担当）	関連課	企画政策課、庁舎建設等担当、公共施設マネジメント推進担当、自治体DX推進担当、財政課、情報システム課、総務課、職員課、管財課
関連計画	行財政改革2025、公共施設等総合管理計画、小金井市DX推進全体方針		

【Do】

令和6年度の主な取組	課題
【企画政策課】 ・第5次後期基本計画の策定に向けた市民参加の取組（小中学生アンケート、高校生ワークショップ等） ・実施計画（令和5～7年度）の策定 【庁舎建設等担当】 ・庁舎等複合施設建設事業の実施設計を完了 【行政経営担当】 ・（仮称）行財政改革2030策定方針の策定 【公共施設マネジメント担当】 ・公共施設在り方検討委員会の新設並びに必要な公共施設の在り方及び既存施設の再編についての検討 【自治体DX推進担当】 ・情報政策推進リーダー向けデジタル人材育成研修 ・庁内向けオンライン申請フォームの作成支援 【情報システム課】 ・AI議事録等業務効率化ツールの全部署試行導入 等	・（仮称）行財政改革2030の策定 ・庁舎移転を契機とした、市民にとってわかりやすく事務の効率化を実現する組織改正の検討 ・公共施設の総量の抑制、維持管理費の縮減 ・職員全体へのDX推進による業務改善機運の醸成 ・データの利活用による合理的で効果的な政策の実施 ・財政調整基金の取崩しに依存しない、持続可能な財政基盤の強化と弾力化の更なる推進

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 行財政運営に対する満足度（アンケート）	18.6%	25.0%	25.4%	19.6%	19.3%	22.4%	
2 前期基本計画の達成率	—	80.0%	15.4%	15.2%	19.7%	15.2%	
3 （仮称）行財政改革2025の達成率	—	80.0%	行革2025策定中	60.0%	60.0%	60.0%	

総括・自己評価

・後期基本計画の策定に当たって、様々な手法を通じて幅広い年齢層から貴重な意見を聞くことができ、計画策定過程における市民参加を促進することができた。

・実施設計再開とともに建築確認申請手続きを行い、建築確認済証が交付されたことにより庁舎等複合施設建設事業の実施設計まで完了した。

・市立公園等・環境楽習館の指定管理業務委託を開始するとともに、翌年度以降の学校給食調理全校委託化、市民課窓口業務委託の範囲拡大等を決定し、アウトソーシングによる効率化を図っている。

・DX推進全体方針に基づき、市民目線でのサービス構築として、国優先27手続のうち市所管手続すべてについてのオンライン化の実現やデジタル技術を活用した窓口利用者対応に関する実証事業に取り組むとともに、内部業務の生産性の向上に繋がる取組として、デジタルチャレンジ、マインドアップ研修、庁内向けオンライン申請フォーム作成支援など、庁内の行動変容を促す手段を実行している。取組推進に部署間で隔たりがあるが、目指す成果に向けて着実に取り組んでいるものと総括をしている。

・これからの時代に必要な公共施設の在り方及び既存施設の再編について検討を進めることができた。

・限りある全ての行政経営資源の最大限の活用を基本とし、計画的かつ持続可能な財政運営を推進するため、基本構想の将来像の実現に向け、未来につなげるまちづくりを進める予算を編成することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	引き続き計画に沿って更なる推進を要するが、各課題において着実に前進がみられるため
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性
・前期基本計画の進捗状況及び施策評価の結果を踏まえ、社会情勢に対応した後期基本計画（令和8～12年度）の策定を目指す。 ・行財政改革2025の基本理念や重点取組等を引き継ぎつつ、より発展させた次期行財政改革の指針として（仮称）行財政改革2030を策定する。 ・これまでの取組を振り返り（仮称）DX推進全体方針（仮称）及びアクションプランの策定し、施策の目指す姿の実現をデジタル政策の面から実現する。 ・引き続き公共施設等総合管理計画に基づく、市の公共施設の適切な配置、維持管理を図るとともに、将来的なサービス需要の変化に的確に対応するため、公共施設の在り方等の検討を行う。

関連計画一覧

政策分野	施策	関連計画	URL (※)
環境と都市基盤	1 みどりと水の環境整備	環境基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankvokeikaku/kankvokihonkeikaku/3kankvokihonkeikaku.html
		みどりの基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/479/keikakuhousin/midorikihonkeikaku/green_masterplan2021.html
		農業振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/nogvo/nougvoushinkou/nougvousin_sakutei.html
		都市計画マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html
		住宅マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/jutaku_shien/masterplan/zyumasuR4.html
	2 循環型社会の形成	一般廃棄物処理基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/446/keikaku/index.html
	3 環境保全の推進	環境基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankvokeikaku/kankvokihonkeikaku/3kankvokihonkeikaku.html
		地球温暖化対策地域推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/473/kankvokeikaku/ondankakeikaku/D0401010202103251059.html
	4 市街地の整備	都市計画マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html
	5 住環境の整備	住宅マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/jutaku_shien/masterplan/zyumasuR4.html
		耐震改修促進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/jutaku_shien/taisihinkeikaku.html
		下水道総合計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/478/sougoukeikkausakutei.html
	6 都市インフラの整備	無電柱化推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/482/doro/D06020302019.html
		橋りょう長寿命化計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/482/doro/20160608.html
		都市計画マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html
		下水道総合計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/478/sougoukeikkausakutei.html
		下水道ストックマネジメント計画	
	7 交通環境の整備	交通安全計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/482/kotsuanzenundo/koutuanzenkeikaku.html
		「C o C o バス」再編計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/482/buss/saihenkeikakugaido.html
地域と経済	8 危機管理体制の構築	地域防災計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/472/bosai/keikaku/tiikibousaikeikaku.html
	9 地域の安全・安心の向上	—	—
	10 産業・観光の振興	産業振興プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/sangyou_rousei/sanshinplan.html
	11 都市農業の振興	農業振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/nogvo/nougvoushinkou/nougvousin_sakutei.html
子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/nobivuku/nobivukukodomopuran4.html
		第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
	13 子育て家庭の支援	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/nobivuku/nobivukukodomopuran4.html
	14 子育て・子育て環境の充実	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/nobivuku/nobivukukodomopuran4.html
	15 学校教育の充実	第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
	16 学校環境の整備	第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
		学校施設長寿命化計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kosodatekvoiku/gakkou-kyouiku/gakkousisetu/gakkoutvouiuvouka.html

関連計画一覧

政策分野	施策	関連計画	URL（※）
文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	第2次芸術文化振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/453/geijutubunkasinkou/dai2jiigeibunkeikaku.html
	18 国際交流・都市間交流の推進	—	—
	19 人権・平和・男女共同参画の尊重	第6次男女共同参画行動計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/daniokvyodosankaku/taisakusodan/daniokvyodoikeikaku/dai6jiikoudoukeikakut.html
	20 生涯学習の振興	第4次生涯学習推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kosodatekyoiku/452/suishinkeikaku/dai4jisyougaikaku.html
		第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
	21 スポーツの振興	第2次小金井市スポーツ推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/kosodate/sportsplan202304.html
		第4次生涯学習推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kosodatekyoiku/452/suishinkeikaku/dai4jisyougaikaku.html
		社会教育関係施設個別施設計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/koukyosisetu/kobetsusisetsu/syakaikeikaku.html
福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	第3期保健福祉総合計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikeikaku/keikakuto_06/hokenfukusikeikaku/fukushisougou3.html
		成年後見人制度利用促進基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/keikakuto_06/seinennkoken.html
	23 高齢者の生きがいの充実	第9期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/9kikeikaku.html
	24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	第9期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/9kikeikaku.html
	25 障がい者福祉の充実	障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kenkofukuhsi/shogaishafukushi/keikaku/syougaisyakeikaku.html
	26 健康の維持・増進	健康増進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikeikaku/keikakuto_06/hokenfukusikeikaku/fukushisougou3.html
		小金井市自殺対策計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kenkofukuhsi/kenkosodan/seiinhokeniigyo/iisatutaisakuikeikaku.html
		第4次小金井市食育推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/keikakuto_06/suishinnkeikaku.html
		国民健康保険データヘルス計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/427/hokeniigyou/dhiigyou.html
		国民健康保険特定健康診査等実施計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/427/hokeniigyou/tokuteikensin.html
		東京都後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業実施計画	
行政運営	27 市民参加・協働の推進	—	—
	28 積極的な情報発信	—	—
	29 計画的な行財政運営	行財政改革2025	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/keikakuto_01/D01016012022090.html
		公共施設等総合管理計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikeikaku/koukyosisetu/sougoukanriikeikaku/D010101020220415101.html
		小金井市DX推進全体方針	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikeikaku/keikakuto_01/dxhousin20221005.html

※ 改定後の計画が掲載されている場合があります。

資料 4

第 1 回長期計画審議会

令和 7 年 6 月 3 0 日

担当委員一覧

グループ	政策分野	施策	担当委員
第 1 グループ	環境と都市基盤	1 みどりと水の環境整備	・ 白井委員 ・ 佐伯委員 ・ 須藤委員 ・ 萬羽職務代理者 ・ 井寺委員 ・ 塚田委員 以上 6 名
		2 循環型社会の形成	
		3 環境保全の推進	
		4 市街地の整備	
		5 住環境の整備	
		6 都市インフラの整備	
		7 交通環境の整備	
	地域と経済	8 危機管理体制の構築	
		9 地域の安全・安心の向上	
		10 産業・観光の振興	
		11 都市農業の振興	
第 2 グループ	子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	・ 檜山委員 ・ 湯元委員 ・ 石塚委員 ・ 春日委員 ・ 浅野委員 以上 5 名
		13 子育て家庭の支援	
		14 子育て・子育て環境の充実	
		15 学校教育の充実	
		16 学校環境の整備	
	福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	
		23 高齢者の生きがいの充実	
		24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	
		25 障がい者福祉の充実	
		26 健康の維持・増進	
第 3 グループ	文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	・ 中村委員 ・ 渡辺委員 ・ 和知委員 ・ 渡邊会長 ・ 神山委員 以上 5 名
		18 国際交流・都市間交流の推進	
		19 人権・平和・男女共同参画の尊重	
		20 生涯学習の振興	
		21 スポーツの振興	
	行政運営	27 市民参加・協働の推進	
		28 積極的な情報発信	
		29 計画的な行財政運営	